

国立大学法人北見工業大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

北見工業大学は「向学心を喚起し、創造性を育み、将来の夢を拓く教育」、「個性に輝き、知の世紀をリードし、地域特色のある研究」、「地域のニーズに応え、地域をリードし、地域の発展に貢献」、「国際的視野を踏まえた教育研究、学生・教職員の国際化を推進」を目指している。第2期中期目標期間においては、学士課程において確実な工学基礎能力を持った技術者を養成すること等を目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、教養教育の充実を図るため、北海道内国立大学の連携による双方向遠隔授業の実施に向けての単位互換協定を締結するとともに、双方向遠隔授業システムを導入して教育環境を整備するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

(機能強化に向けた取組状況)

学長のリーダーシップによる学内予算の戦略的・重点的配分として、教育研究活性化経費（学長裁量経費）を設け、研究推進分野に関連したプロジェクト型研究や教育関連のプログラム、海外との教育研究交流等に対する支援を行うとともに、新たに小中学校教員の理科実験資質向上を図るための実地研修を行うなど、子供の理科離れへの対応や基礎学力向上等の社会的要請の高い事業に取り組んでいる。

2 項目別評価

I. 業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化)

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 北海道地区の国立大学と連携して統一的な「旅費システム」を共同調達し、システム導入に併せて旅費規程の改正を行っているほか、平成26年4月からの旅費計算業務外部委託に向けて調整を行うなど、事務の効率化・合理化を図っている。
- 教員評価において、教員が具体的な目標を定めることができるように、評価点の算出基礎となる「指導学生数」、「論文数」及び「外部資金額」の数値データの学内平均値等を新たに各教員に提示するなど、透明性の高い業績評価を行っている。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載17事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(2) 財務内容の改善に関する目標

- 〔①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、
③資産の運用管理の改善〕

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載8事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

- 〔①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進〕

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 大学の業務全般及び、平成22年度から3年間の中期計画の進捗状況について外部評価委員会による検証を行い、第2期中期目標・中期計画ロードマップの見直しを行っている。

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他業務運営に関する重要目標

- 〔①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守〕

【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる

(理由) 年度計画の記載13事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

II. 教育研究等の質の向上の状況

平成25年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 教養教育の充実を図るため、北海道内国立大学の連携による双方向遠隔授業の実施に向けて単位互換協定を締結するとともに、双方向遠隔授業システムを導入するなど、教育環境を整備している。
- 研究推進機構に「大学戦略設置型」と「公募型」の研究ユニットを設置し、集中的な予算配分や非常勤研究員の配置等の優遇処置を行うとともに、「研究ユニット研究報

告会」を開催するなど、特色ある研究プロジェクトや地域性の強い応用研究を推進している。

- 最新の地域ニーズや傾向を常に把握するために、5年ごとに実施していた共同研究の相手先を対象としたアンケート調査を毎年実施することとし、寒冷地に関する技術開発等の地域に根ざした共同研究につなげている。